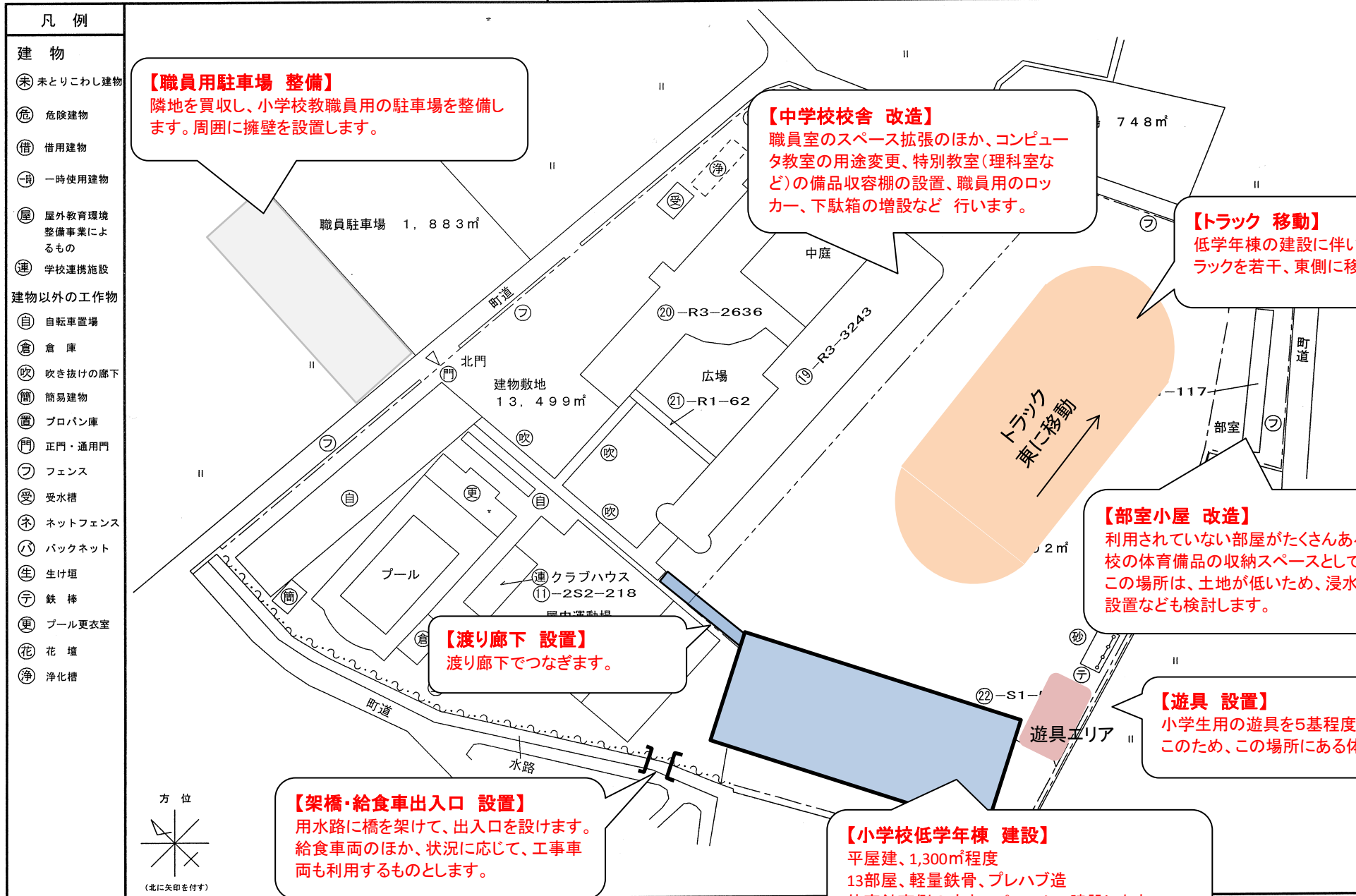


説明図

【川島中学校の小中一貫教育校化に伴う整備事業方針】

(平成4年度)

施設の配置図	縮尺	1/1200	学校名	川島中学校	調査番号	(都道府県)	(市町村)	(学校)	整理番号
		0 5 10 20 30 40m			1 1	3 4 6	4 6 2 1		



【職員用駐車場 整備】
隣地を買収し、小学校教職員用の駐車場を整備します。周囲に擁壁を設置します。

【中学校校舎 改造】
職員室のスペース拡張のほか、コンピュータ教室の用途変更、特別教室(理科室など)の備品収容棚の設置、職員用のロッカー、下駄箱の増設など 行います。

【トラック 移動】
低学年棟の建設に伴い、安全に配慮し、トラックを若干、東側に移動します。

【部室小屋 改造】
利用されていない部室がたくさんあるため、ここを小・中学校の体育備品の収納スペースとして活用することとします。この場所は、土地が低いため、浸水対策として、排水溝の設置なども検討します。

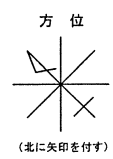
【渡り廊下 設置】
渡り廊下でつなぎます。

【遊具 設置】
小学生用の遊具を5基程度、設置します。このため、この場所にある体育小屋は取り壊します。

【架橋・給食車出入口 設置】
用水路に橋をかけて、出入口を設けます。給食車両のほか、状況に応じて、工事車両も利用するものとします。

【小学校低学年棟 建設】
平屋建、1,300㎡程度
13部屋、軽量鉄骨、プレハブ造
体育館南側の空きスペースに、建設します。

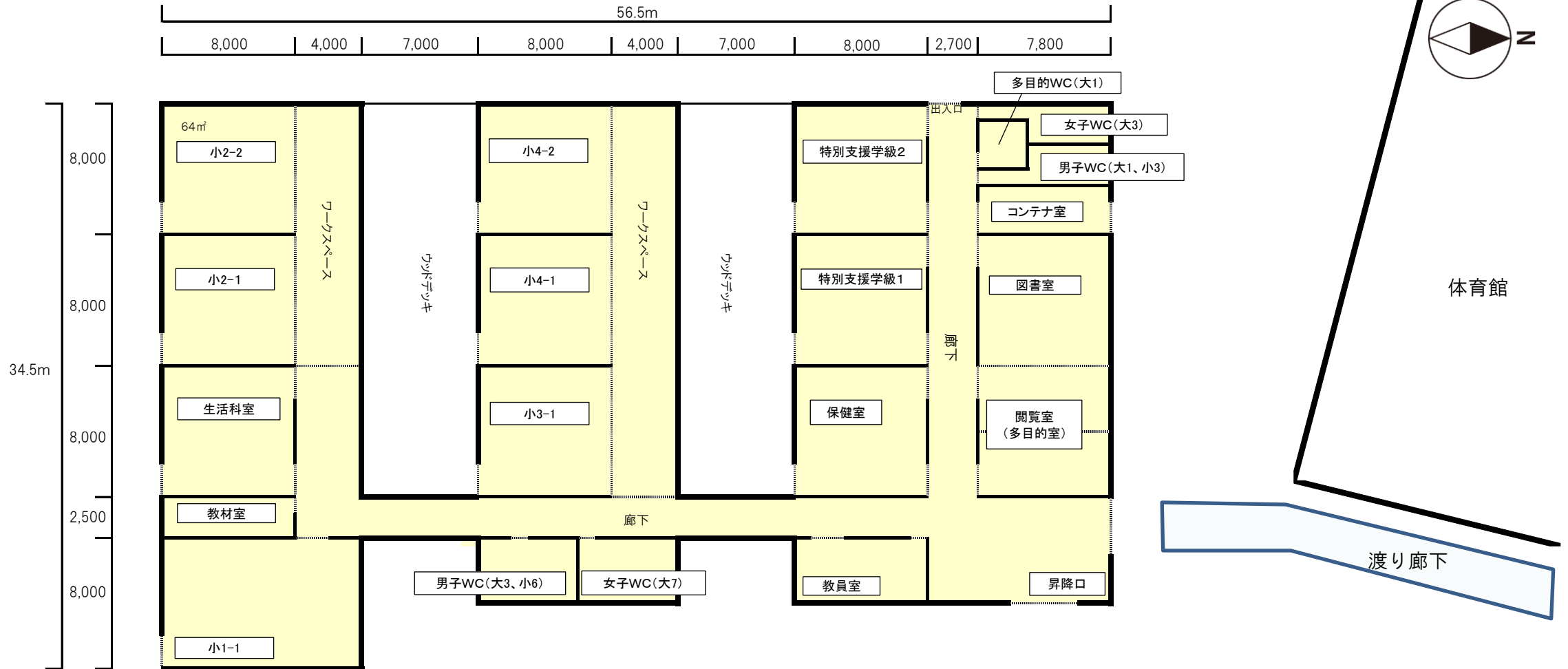
- 凡例
- 建物
- ⊖ 未とりこわし建物
 - ⊕ 危険建物
 - 借 借用建物
 - 一 一時使用建物
 - 屋 屋外教育環境整備事業によるもの
 - 連 学校連携施設
- 建物以外の工作物
- 自 自転車置場
 - 倉 倉庫
 - 吹 吹き抜けの廊下
 - 簡 簡易建物
 - 備 プロパン庫
 - 門 正門・通用門
 - フ フェンス
 - 受 受水槽
 - ネ ネットフェンス
 - ハ バックネット
 - 生 生け垣
 - 子 鉄棒
 - 更 プール更衣室
 - 花 花壇
 - 浄 浄化槽



小学校低学年棟建設工事内容

小学校低学年棟 校舎平面図

1階



参考)生徒数の予想数(令和7年度)

学年	人数	クラス数	備考
1年生	33	1	つばさ南小とつばさ北小児童の合計
2年生	45	2	"
3年生	30	1	"
4年生	37	2	"
合計	145	6	

渡り廊下を設置して、既存校舎(中学校校舎)と接続します。バリアフリーに対応するものとします。

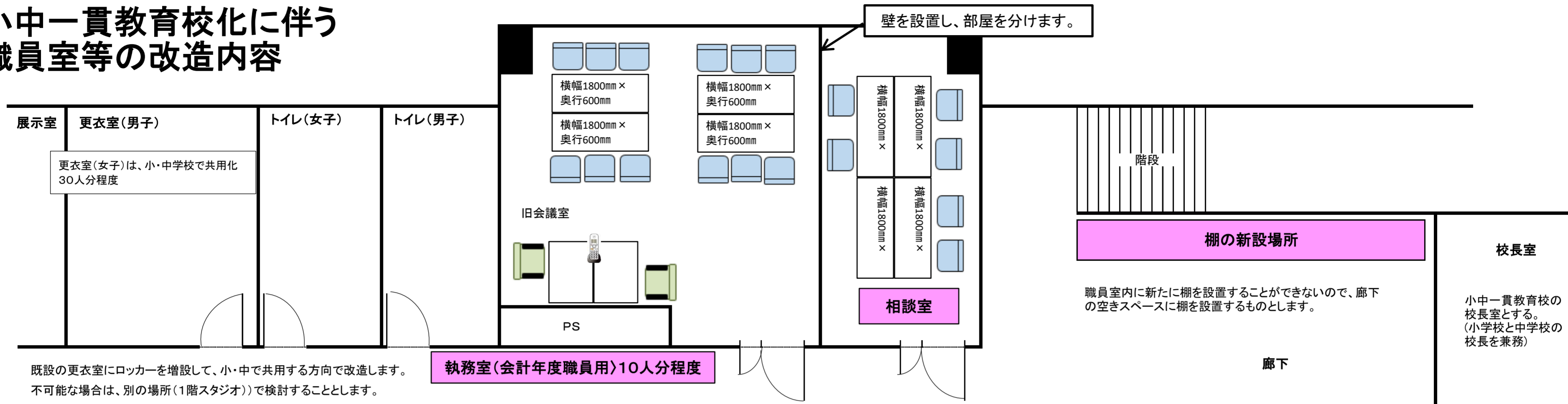
中学校の体育、部活動に支障がないよう、増築校舎南側に遊具(5基程度)を設置します。

採光に配慮し、教室を南側に向けて配置することとします。

昇降口到下駄箱も設置することとします。(250程度)

給食受所に、給食配送車が付けられるようにします。(このため水路に橋を架けます。)

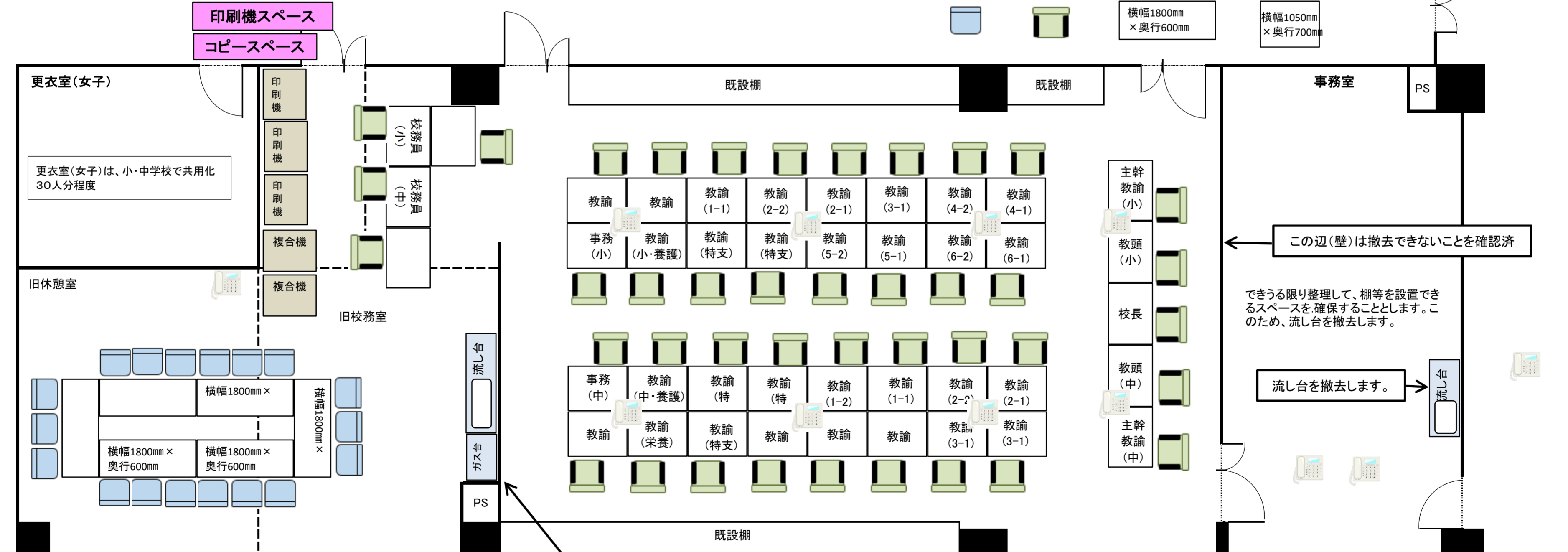
小中一貫教育校化に伴う職員室等の改造内容



既設の更衣室にロッカーを増設して、小・中で共用する方向で改造します。不可能な場合は、別の場所(1階スタジオ)で検討することとします。

事務機は、現在、中学校で使用しているものに統一することとし、整備を工事の中を含めることとします。また、事務用椅子は全て更新するものとします。

- 椅子 肘なし
- 事務用椅子 肘付き
- 長テーブルの寸法 3人掛
横幅1800mm × 奥行600mm
- 事務機の寸法 1人掛
横幅1050mm × 奥行700mm



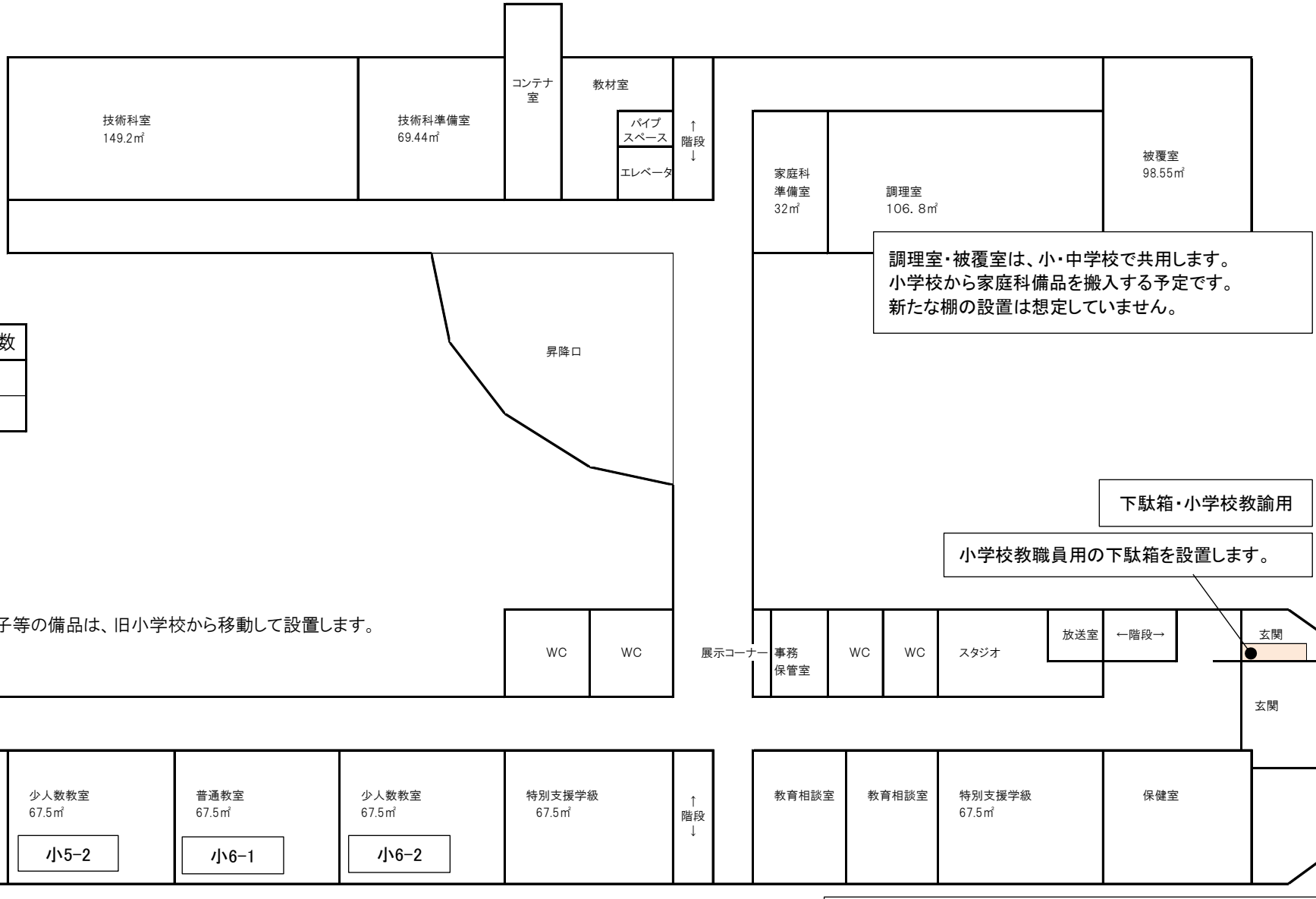
休憩室兼ミーティングルーム

休憩室としての機能を残しつつも、職員間の連携、コミュニケーションが取りやすいよう、打合せできるスペースを設けます。このため、畳を撤去し、フローリングに変更します。

この辺(壁)は撤去できないことを確認済

職員室(正規職員用)

川島中学校の小中一貫教育校化に伴う校舎内整備工事内容



児童数の予想数(令和7年度)

学年	人数	クラス数
5年生	41	2
6年生	36	2

小5・6年教室の児童用机・椅子等の備品は、旧小学校から移動して設置します。

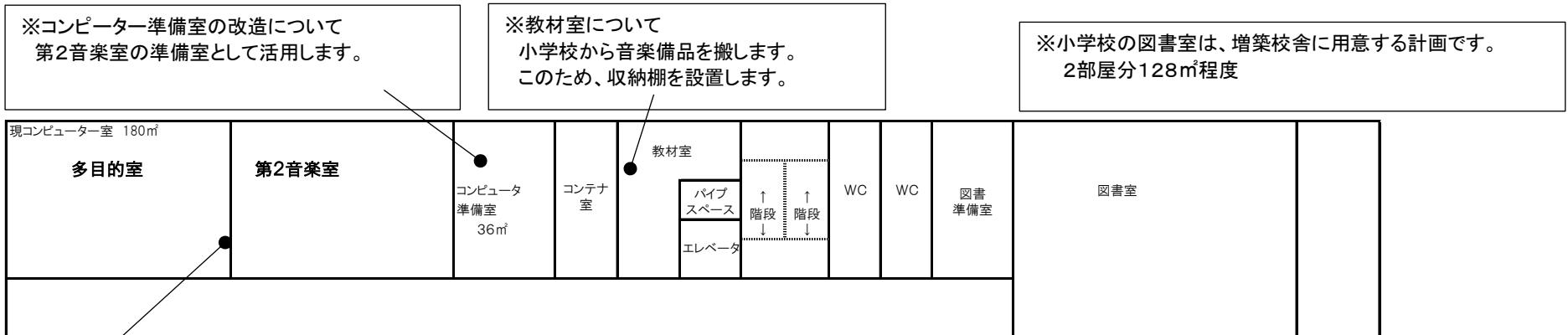
調理室・被覆室は、小・中学校で共用します。
小学校から家庭科備品を搬入する予定です。
新たな棚の設置は想定していません。

下駄箱・小学校教諭用

小学校教職員用の下駄箱を設置します。

※小学校の保健室は、増築校舎に用意する計画です。

川島中学校の小中一貫教育校化に伴う校舎内整備工事内容



※コンピューター教室の改造について
「第2音楽室」... 90㎡程度
「多目的室」... 90㎡程度
※会議室、集会のほか、多目的な学習が展開できる部屋としたい。

参考)生徒数の予想数(令和7年度)

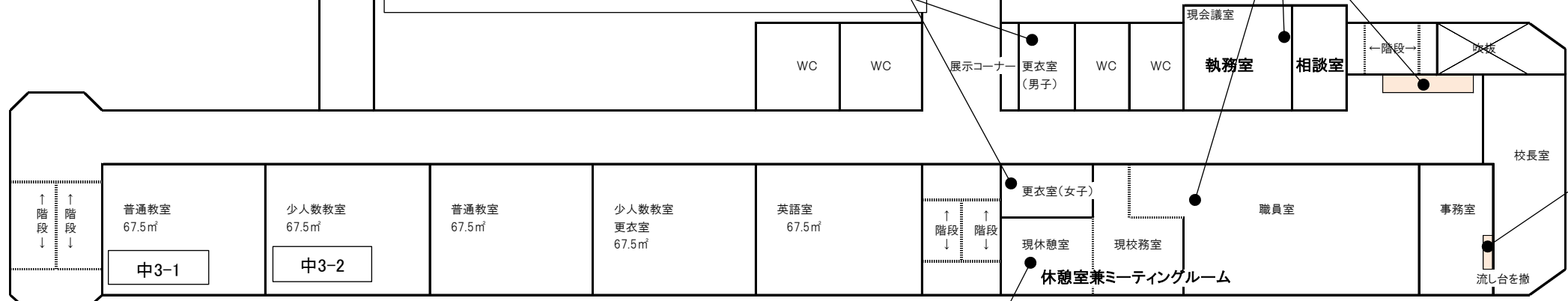
学年	人数	クラス数
中学3年生	78	2

※小学校教職員の更衣室について
小・中学校の教職員で共用する方向で、既設の更衣室にロッカーを増設する方向で検討します。
不可能な場合は、別の場所(1階スタジオ)で検討します。

※職員室について
基本として、小・中学校の教職員を、職員室に入れる計画です。
そこで、スペースを拡張するため、壁を撤去するものとします。(点線)

※会議室について
会議室の約2/3を「執務室」に改造し、会計年度職員を入れます。
残り約1/3は、「相談室」に改造します。
そこで、コンピュータ教室の1部を、代わりに「会議室」として設けることとします。

※廊下について
廊下の一部を活用して、棚を設置するものとします。



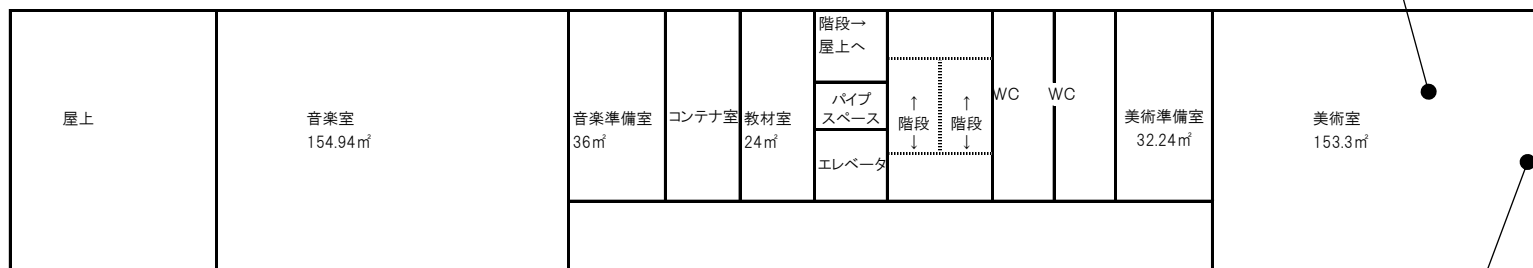
※校務室・休憩室について 休憩室の畳を撤去し、床をフローリングに変更して、休憩とミーティングができる部屋に改造するものとします。「休憩室兼ミーティングルーム」

※事務室について
流し台を撤去するなどし、文書等の収納スペースを確保できるよう整理するものとします。

川島中学校の小中一貫教育校化に伴う校舎内整備工事内容

川島中学校 校舎平面図

3階



美術室は、小・中学校で共用します。
小学校から図工備品を搬入する予定です。

※廊下について
図画工作・美術の完成作品の展示コーナーを整備する

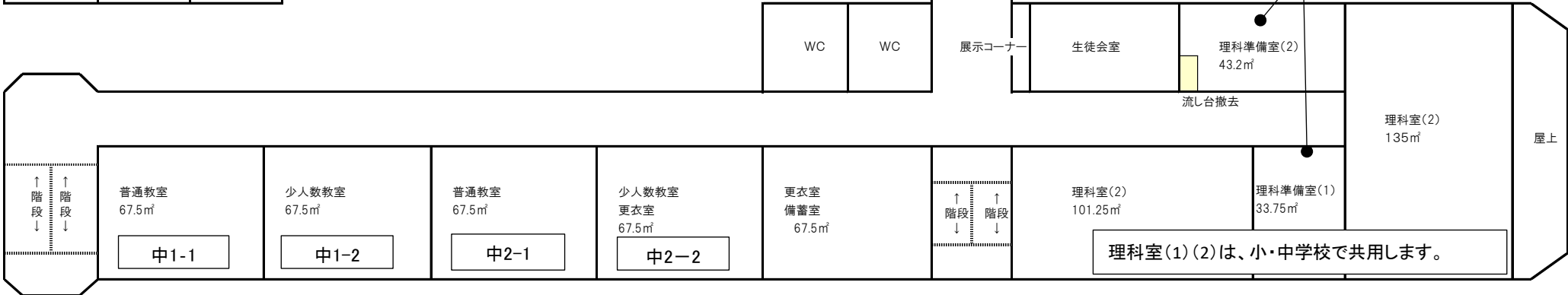
※美術室内について
図画工作・美術の製作途中作品の置き場所を整備する

小学校から理科備品を搬入する予定です。
そこで、準備室(2)内の流し台を撤去し、この場所の他、余剰スペースを活用して新たに棚を設置することとします。

設置を希望する棚は3種類
 ウチダシステム戸棚(顕微鏡) ST-7534 1200(幅)×600(奥行)×1900(高)mm
 ウチダシステム戸棚(ワゴン) ST-7522 1800(幅)×450(奥行)×1900(高)mm
 ウチダシステム戸棚(長物) ST-7528 1800(幅)×450(奥行)×1900(高)mm

参考)生徒数の予想数(令和7年度)

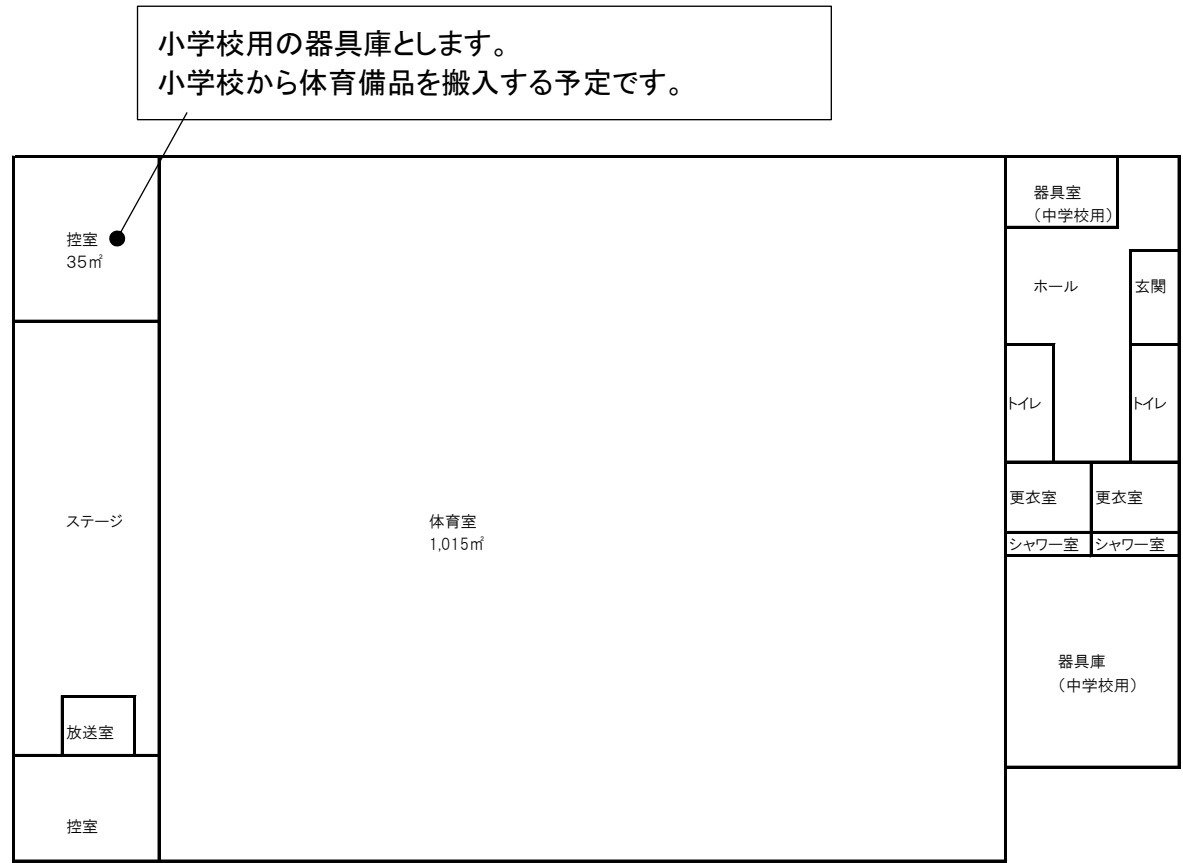
学年	人数	クラス数
中学1年生	66	2
中学2年生	53	2



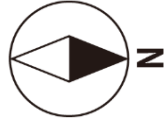
理科室(1)(2)は、小・中学校で共用します。

川島中学校の小中一貫教育校化に伴う体育館整備工事内容

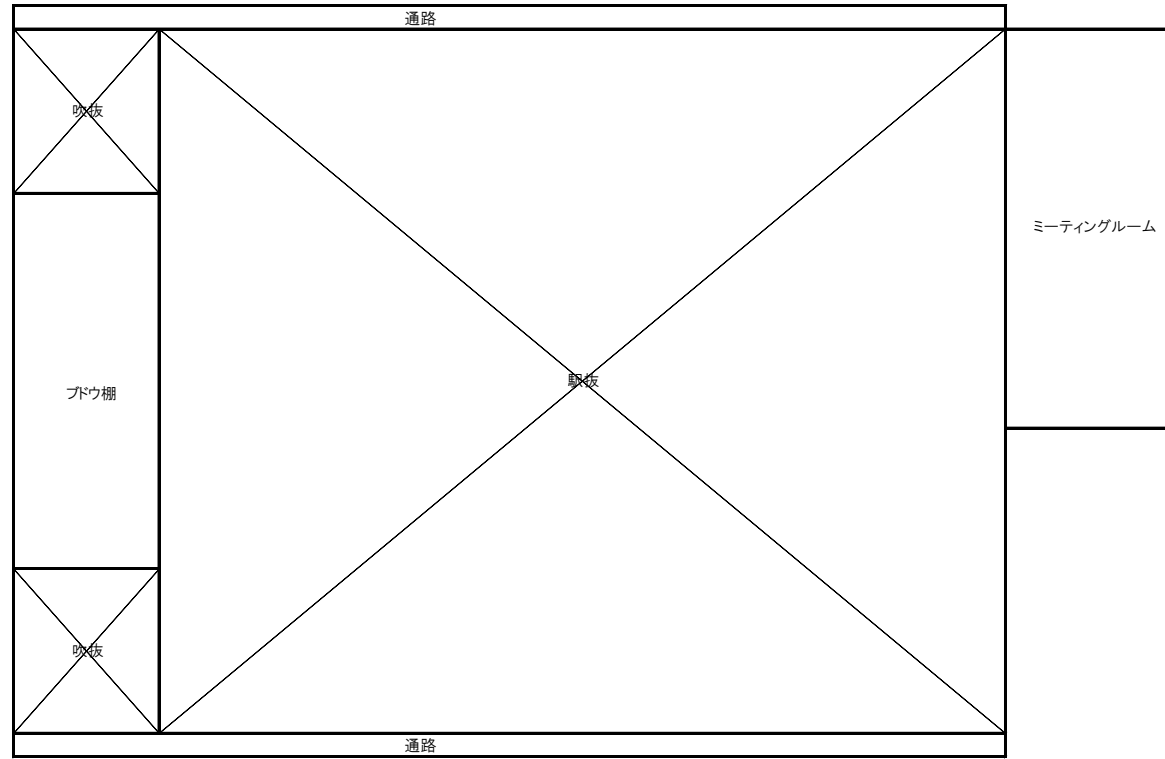
屋内運動場 平面図 1階



小学校用の器具庫とします。
小学校から体育備品を搬入する予定です。



川島中学校の小中一貫教育校化に伴う整備工事内容



屋内運動場 平面図 2階

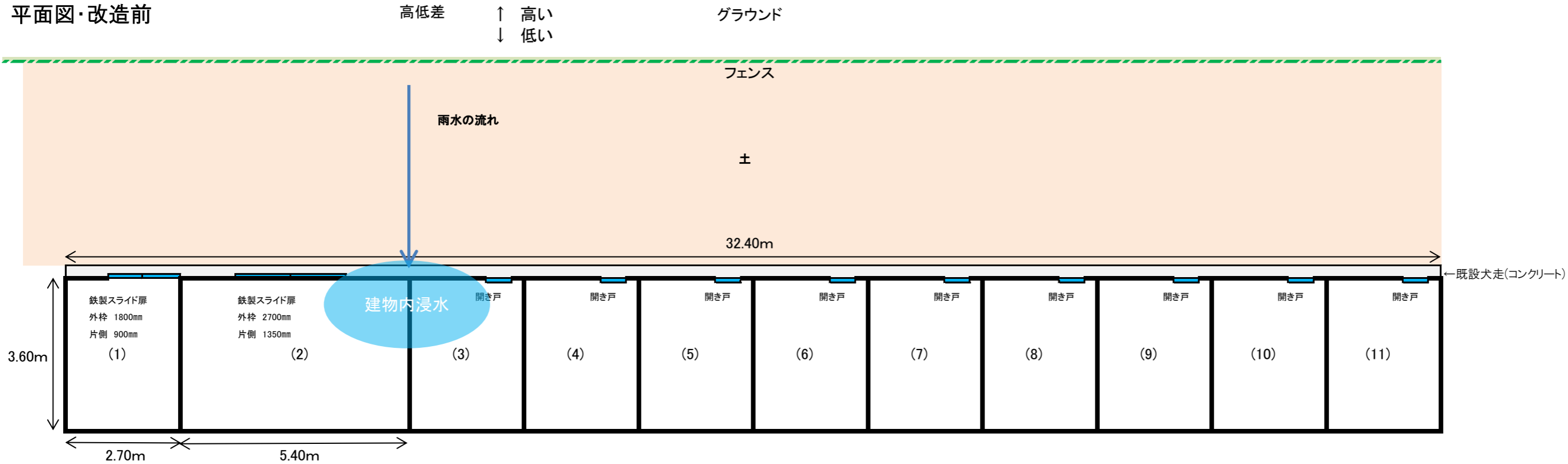


川島中学校の小中一貫教育校化に伴う体育小屋整備工事内容

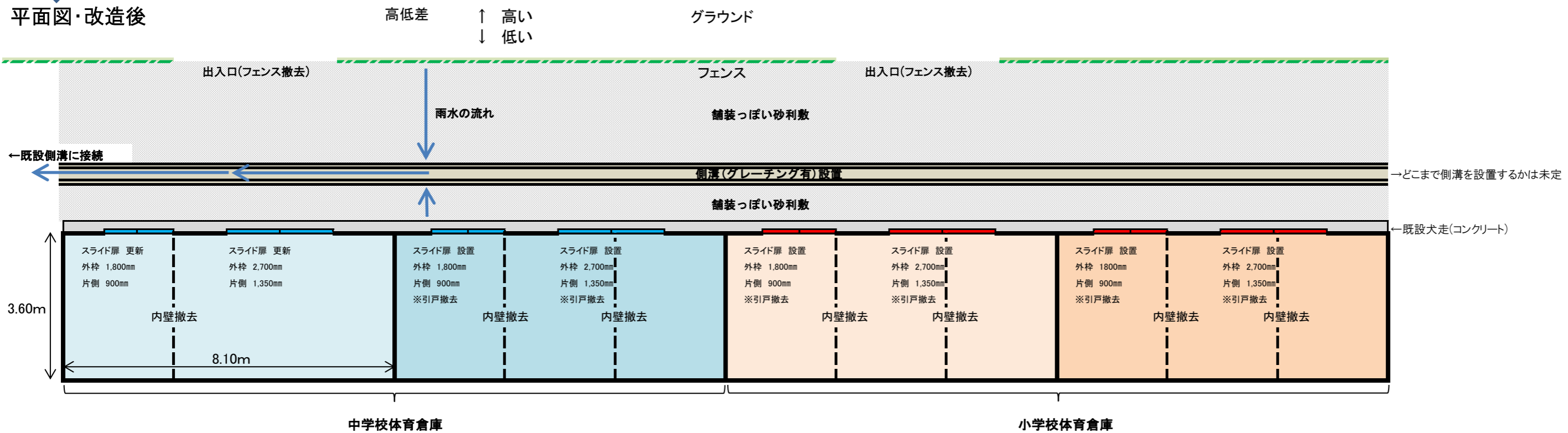


部室小屋 平面図 1階

平面図・改造前



平面図・改造後



◆側溝整備

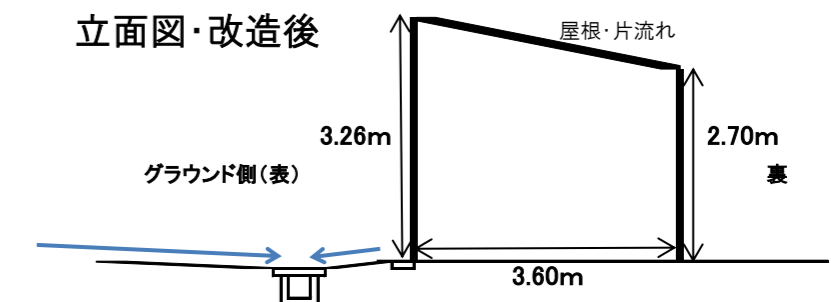
部室小屋周りは、グラウンドと比較し、土地が低いため、大雨が降った際には、雨水が集まり、部屋の床が浸水することもあります。そこで、浸水を防ぐため、小屋の前に排水溝を設けるなど、浸水対策を検討します。

◆部室小屋更

小屋に、中学校の体育備品と、小学校の体育備品をそれぞれ分けて、収納することから、内壁を撤去するなどして、内部の区画を広くし、かつ出入りしやすいよう、スライド式扉に改造するほか、出入りしやすいようフェンスを一部撤去を検討します。

しかしながら、建物の構造的な問題などから上記の改造工事が出来ない場合、あるいは改造よりも建て替えの方が費用が安価となる場合には、建て替えで対応することとします。

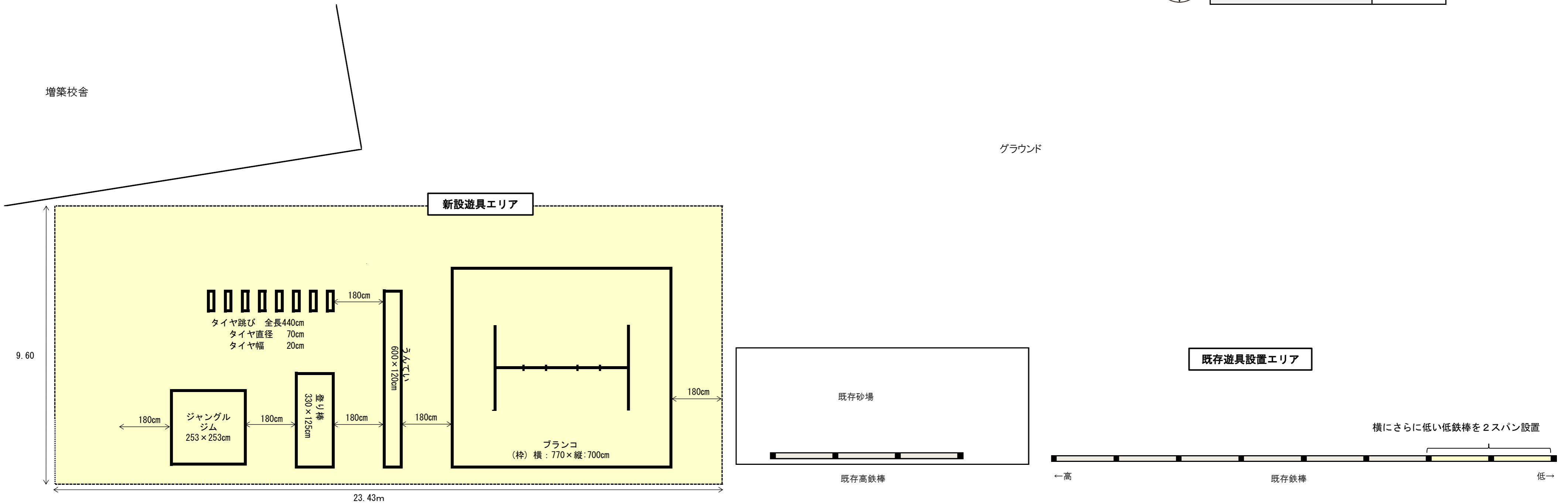
立面図・改造後



川島中学校の小中一貫教育校化に伴う遊具整備工事内容



遊具設置イメージ図



高鉄棒(砂場含む)・鉄棒は、小・中学校で共用することとし、これに伴い新たに設備更新の必要がある場合は、適宜、対応することとします。

既存低鉄棒のさらに東に、さらに2スパン(約180cm×2)低鉄棒を追加します。

その他、小学生用(低学年)の遊具を、既存遊具設置エリアの西側、小学校低学年棟の南側のエリアに設置します。

種類は、「ブランコ」「登り棒」「タイヤ」「うんてい」「ジャングルジム」の5種類とします。

